

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和8年 6月 19日

岩手県知事
達増 拓也 殿

提出者
住 所 岩手県大船渡市盛町字二本杵5番
氏 名 株式会社アマタケ
代表取締役 甘竹 秀企
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0192-26-5205

岩手県循環型地域社会の形成に関する条例第9条の2第1項の規定により、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

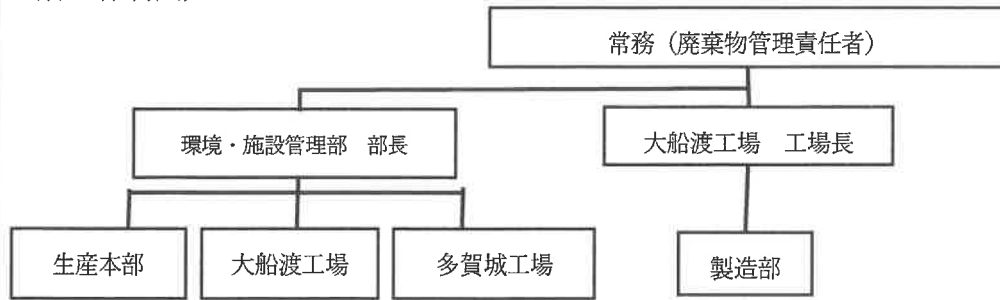
事業場の名称	株式会社アマタケ 大船渡工場
事業場の所在地	岩手県大船渡市盛町字二本杵5番
計画期間	令和8年4月1日～令和9年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	091 畜産食料品製造業
②事業の規模	令和8年度 食鳥処理羽数 379万羽、食鳥処理重量 10515トン 令和7年度 食鳥処理羽数 410万羽、食鳥処理重量 11480トン (令和7年度比 食鳥処理羽数 92.4%、食鳥処理重量 91.6%)
③従業員数	製造部門 158名(令和8年4月)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	脱水汚泥：外部へ委託処理 動物性残渣：肥料製造業者へ委託処理 廃油：外部へ委託処理 廃プラスチック：外部へ委託処理

(日本工業規格 A列4番)



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和7年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	1	2	3	4	5	合計
	排出量（t）	481.3	15.1	32.4	0.5		529.4
	1：脱水汚泥、2、動物性残渣、3：廃プラスチック、4、廃油、5、ガラスくず （これまでに実施した取組） 脱水汚泥の発生量を抑制すべく排水処理での凝集剤注入の適正化、脱水機管理の徹底を行い、脱水率の向上を図り発生量の減少に努める。また、歩留りの向上、製品ロス低減に努め、食品廃棄物を減らす。						
② 計画	【目標】 令和8年度						
	産業廃棄物の種類	1	2	3	4	5	合計
	排出量（t）	440.9	13.8	29.8	0.5		485.0
	（今後実施する予定の取組） 令和8年度の目標値は、生産重量の減少を踏まえて定めた。 取り組み内容に関しては、上記内容の継続						

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 工程毎に発生した廃棄物を、しっかりと区分保管する。当工場でやむを得ず発生する廃棄物のリサイクルを促進するうえでも重要であるため、しっかりと行う。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 上記に同じ

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 動物系固形不要物は全量飼料会社に販売している。そのため、産業廃棄物の対象外とした。		
② 計画	【目標】 令和8年度		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 上記に同じ		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 動物系固形不要物は全量飼料会社に販売している。そのため、産業廃棄物の対象外とした。		
② 計画	【目標】 令和8年度		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 上記に同じ		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項							
① 現状	【前年度（令和 7 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類						
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		t			t	
	(これまでに実施した取組) 自ら埋立処分または海洋投入処分は行っていない。また、今後行う予定はない。						
② 計画	【目標】 令和 8 年度						
	産業廃棄物の種類						
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		t			t	
	(今後実施する予定の取組) 自ら埋立処分または海洋投入処分は行っていない。また、今後行う予定はない。						
産業廃棄物の処理の委託に関する事項							
① 現状	【前年度（令和 7 年度）実績】別紙の通り						
	産業廃棄物の種類	1	2	3	4	5	合計
	全処理委託量（t）	481.3	15.1	32.4	0.5		529.4
	優良認定処理業者への処理委託量						
	再生利用業者への処理委託量	481.3	15.1	32.4	0.5		529.4
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量						
	1：脱水汚泥、2、動物性残渣、3：廃プラスチック、4、廃油、5、ガラスくず （これまでに実施した取組） 優良認定処理業者への処理の委託は行っていない。 動植物性残渣は肥料製造業者へ、脱水汚泥、廃プラスチック類、金属くず、ガラスくずは再生利用業者へ委託処理してきた。 熱回収を行う業者への処理の委託は行っていない。						

② 計画	【目標】 令和 8 年度						
	産業廃棄物の種類	1	2	3	4	5	合計
	全処理委託量 (t)	440.9	13.8	29.8	0.5		485.0
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量						
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	440.9	13.8	29.8	0.5		485.0
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量						
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量						
	1：脱水汚泥、2、動物性残渣、3：廃プラスチック、4、廃油、5、ガラスくず (今後実施する予定の取組) 優良認定処理業者への処理の委託は行っていない。今年度も予定は無いが、委託を検討する。 植物性残渣は肥料製造業者へ、脱水汚泥、廃プラスチック類、廃油、ガラスくずは再生利用業者へ委託処理してきた。今後も継続予定である。 熱回収を行う業者への処理の委託は行っていない。今年度も予定はないが、委託を検討する。						
※事務処理欄							

【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類： 全体)

数値は、
上段：前年度実績値
下段：今年度目標値

有償物量

不要物等発生量

排出量

①	529.3	t
	485.0	

②	自ら直接 再生利用する量	t

③	自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分する量	t

⑧	自ら中間処理した後 再生利用する量	t

項目	前年度実績値 今年度目標値
①排出量	529.3 485.0
②+⑤自ら再生利用を行った量	t
⑤自ら熱回収を行った量	t
⑦自ら中間処理により減量した量	t
③+④自ら埋立処分又は海洋投入 処分を行った量	t
⑩全処理委託量	529.3 485.0
⑪優良認定処理業者への処理委託	t
⑫再生利用業者への処理委託量	529.3 485.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量	t

④	自ら中間処理 する量	t

⑥	自ら中間処理した 後の残さ	t

⑨	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分する量	t

⑤	④のうち熱回収 を行う量	t

⑦	自ら中間処理によ り減量した量	t

⑩	直接及び自ら 中間処理した後の 委託処理量	529.3 485.0

⑪	⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	t

⑫	⑩のうち再生利用 業者への処理委託量	529.3 485.0

⑬	⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量	t

⑭	⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	t

【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 汚泥)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値

有償物量

不要物等発生量

② 自ら直接
再生利用する量
t

⑧ 自ら中間処理した後
再生利用する量
t

③ 自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分する量
t

⑨ 自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分する量
t

① 排出量
481.3
440.9
t

⑫ ⑩のうち再生利用
業者への処理委託量
481.3
440.9
t

④ 自ら中間処理
する量
t

⑥ 自ら中間処理した
後の残さ
t

前年度実績値
今年度目標値
481.3
440.9
t

②+⑧ 自ら再生利用を行った量
t

⑤ 自ら熱回収を行った量
t

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量
t

⑦ 自ら中間処理により減量した量
t

④のうち熱回収
を行う量
t

⑭ ⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量
t

③+④ 自ら埋立処分又は海洋投入
処分を行った量
481.3
440.9
t

⑩ 全処理委託量
481.3
440.9
t

⑩のうち優良品認定
処理業者への
処理委託量
481.3
440.9
t

⑪ 優良認定処理業者への処理委託
量
481.3
440.9
t

⑦ 自ら中間処理によ
り減量した量
t

⑩のうち熱回収によ
り減量した量
t

⑬ 熱回収認定業者への処理委託量
t

⑤ ④のうち熱回収
を行う量
t

⑪ ⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量
t

⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を
行う業者への処理委託量
t

④のうち熱回収
を行う量
t

⑫ ⑩のうち再生利用
業者への処理委託量
481.3
440.9
t

【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類： 廃プラスチック類)

有償物量

数値は、
上段：前年度実績値
下段：今年度目標値

不要物等発生量

自ら直接 再生利用する量	②	t
-----------------	---	---

自ら中間処理した後 再生利用する量	⑧	t
----------------------	---	---

排出量	①	t
	32.4	
	29.8	

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分する量	③	t
-------------------------	---	---

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分する量	⑨	t
------------------------------------	---	---

項目	前年度実績値 今年度目標値
①排出量	32.4 29.8
②+③自ら再生利用を行った量	t
⑤自ら熱回収を行った量	t
⑦自ら中間処理により減量した量	t
③+④自ら埋立処分又は海洋投入 処分を行った量	t
⑩全処理委託量	32.4 29.8
⑪優良認定処理業者への処理委託	t
⑫再生利用業者への処理委託量	32.4 29.8
⑬熱回収認定業者への処理委託量	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量	t

自ら中間処理 する量	④	t
---------------	---	---

自ら中間処理した 後の残さ	⑥	t
------------------	---	---

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分する量	⑨	t
------------------------------------	---	---

④のうち熱回収 を行う量	⑤	t
-----------------	---	---

自ら中間処理によ り減量した量	⑦	t
--------------------	---	---

直接及び自ら 中間処理した後の 委託処理量	⑩	t
	32.4	
	29.8	

⑩のうち再生利用 業者への処理委託量	⑫	t
	32.4	
	29.8	

⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量	⑬	t
------------------------	---	---

⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	⑭	t
---	---	---

⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	⑪	t
-----------------------------	---	---

【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類： 動物性残渣

数値は、
上段：前年度実績値
下段：今年度目標値

有償物量

不要物等発生量

排出量

①	15.1	t
	13.8	

②	自ら直接再生利用する量	t
---	-------------	---

③	自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量	t
---	---------------------	---

項目	前年度実績値	今年度目標値
①排出量	15.1	t
②+⑧自ら再生利用を行った量		t
⑤自ら熱回収を行った量		t
⑦自ら中間処理により減量した量		t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量		t
⑩全処理委託量	15.1	t
⑪優良認定処理業者への処理委託	13.8	t
⑫再生利用業者への処理委託量	15.1	t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	13.8	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t

④	自ら中間処理する量	t
---	-----------	---

⑤	④のうち熱回収を行う量	t
---	-------------	---

⑥	自ら中間処理した後の残さ	t
---	--------------	---

⑦	自ら中間処理により減量した量	t
---	----------------	---

⑧	自ら中間処理した後再生利用する量	t
---	------------------	---

⑨	自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分する量	t
---	----------------------------	---

⑩	直接及び自ら中間処理した後の委託処理量	15.1 13.8	t
---	---------------------	--------------	---

⑪	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量		t
---	---------------------	--	---

⑫	⑩のうち再生利用業者への処理委託量	15.1 13.8	t
---	-------------------	--------------	---

⑬	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量		t
---	--------------------	--	---

⑭	⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t
---	-------------------------------	--	---

【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 廃油)

数値は、
上段:前年度実績値
下段:今年度目標値

有機物量

不要物等発生量

排出量

①	0.5	t
	0.5	

自ら直接 再生利用する量	②	t

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分する量	③	t

自ら中間処理した後 再生利用する量	⑧	t

項目	前年度実績値	今年度目標値
①排出量	0.5	t
	0.5	
②+⑧自ら再生利用を行った量		t
⑤自ら熱回収を行った量		t
⑦自ら中間処理により減量した量		t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入 処分を行った量		t
⑩全処理委託量	0.5	t
	0.5	
⑪優良認定処理業者への処理委託量		t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.5	t
	0.5	
⑬熱回収認定業者への処理委託量		t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量		t

自ら中間処理 する量	④	t

自ら中間処理した 後の残さ	⑥	t

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分する量	⑨	t

④のうち熱回収 を行う量	⑤	t

自ら中間処理によ り減量した量	⑦	t

直接及び自ら 中間処理した後の 委託処理量	⑩	t
	0.5	0.5

⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	⑪	t

⑩のうち再生利用 業者への処理委託量	⑫	t
	0.5	0.5

⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量	⑬	t

⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	⑭	t